

KSKQ あかねニュース No. 68

川西市障害者共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101

ホームページ akanesan.net

E-mail: rassya@akane@deluxe.ocn.ne.jp

アニバーサリー・イヤーという

「節目(ふしめ)」

今年(2010年)は、大作曲家・ショパンとシューマンの生誕200年、同じくマーラーの生誕150年の年なのだそうです。

ショパンはポーランドに、シューマンはドイツに、同じ1810年の三月と六月に生れていたのでした。

二人とも若くして亡くなってしまいました(ショパンは39歳、シューマンは46歳)「彼らもし今みたいに平均寿命の長い時代に生きていたら、もっと長生きして、もっと数多くの名曲を残せただろうに」と誰もが思うのはごく自然です。

マーラーは1860年に生れ、1911年に51歳で亡くなっ

たので、生誕150周年の翌年が没後100周年ということになります。大作家や大作曲家、大画家などの生誕何周年、没後何周年と銘打った展覧会や演奏会、講演会などのイベントはますます増えています。

日本独特の現象なのかどうかは知りませんが、日本は特に熱心なようです。イベントプロモーターの商魂たくましい、と云うところでしょうか。・マーラーさまさま??

企業などにとつての「アニバーサリーイヤー」は、創立何周年、という捉え方をするのが常です。毎年の創立記念日はともかく、十周年・十五周年など、だいたい、

5とか10とかの倍数の「きりのいい年」に、記念行事を企画したり、記念誌を出したりします。

こちらのほうは、大芸術家の生誕何周年のイベントのような経済効果を誘発するのではなく、創業時の原点に立ち返り、創業者たちの苦勞を偲び、これまで支えていただいた協力者(得意先・社員など)に謝意を表し、気持ちを新たに今後に向けての決意を誓う、といった内容になることが多い、もちろん何がしかの祝賀イベントを伴いはするものの、基本的には真摯な行事です。

＊ ＊ ＊
じつは、「あかね」も、今年ささやかに「創立20周年」を迎えるのです。

私たちは去る2008年の春に「あかねはうす20周年感謝の集い」を開きましたが、これは、作業所より早く、義務教育を終了

毎日発行

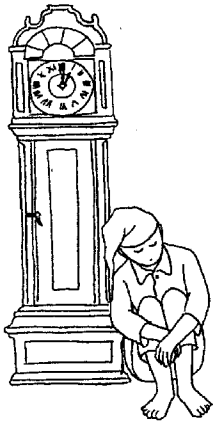
一九九一年九月三日 第三種郵便物認可

頒価 定価 一〇〇円

したのちの障害者の「働き場」の一助にと、川西市緑台に「あかねはうす」を設立した1987年から数えて20年を経過したことに因んだものでした。

その後、1990年(平成2年)に在宅を余儀なくされる知的障害者と共に生き、共に働く場としての「作業所」設立に向け実行委員会を立ち上げるのですが、私たちはこの活動の開始時を、事実上の「共働作業所あかね」創立の時と位置付け、今年を以て丸20年を経過したと認識いたしました。

現実の「共働作業所あかね」が、多くの皆さまのご支援を得て、川西市緑台に誕生したのは翌1991年(平成3年)、こちらを基点とみれば今年が創立20年目の年となります。



この20年の間、「あかね作業所」設立とその離陸に、当事者として関わった人たちの苦勞・努力は、筆舌に尽くせぬ、文字どうり想像を超えたものであったことでしょう。

私自身、それら創業者たちの「産みの苦しみ」は、しよせん聴いたり読んだりしてしか知ることはできず、当事者の皆さんとの温度差を埋めることはできません。

せめて、サポーターとして関わってれば、それなりの実感を伴った想像が出来るのでしょうか、今から20年前といえば、伊丹市に4人家族で(子供二人も一緒に)住んで、現役のサラリーマンの真つ最中でした。

20年と云うと、必ずと云って良いほど「やつと成人式を迎えたばかり。まだ、”ひよこ”です。」といったコメントを誰かが口にします。

もちろん謙虚で好感が持てるのですが、私は「目的(志・こころざし)を持った集団」の20年にわたる継続・成長というものには、単なる一人の人間が20歳になっ

たこととは比べ物にならないほどの重みを感じます。

そして、設立時代の当事者の何人かが、今でもその集団にとどまって、中心的な存在として頑張っていることにも、驚きと感慨の念を禁じえません。

知的障害児も地域の学校で、という発想は今日では「ふつうのこと」として、受け入れられています。20年前にはこれがやつと実現の緒についたばかり。

この活動のルーツを辿れば、川西市においても、そこからさらに15年以上も遡ることになります。障害児の親と、その活動に共鳴した協力者たちは、文字通りその生涯を通じての「心身の最盛期」をこの活動と共に過ごしてきたのです。

「共働作業所あかね」は、支援者の皆さまに見守られながら、スタッフ・利用者の変遷を伴いつつ、20年の足跡を刻みましました。活動の内容・性格も少しずつ姿・形を変え、「産みの苦しみ」の時代を体験していないスタッフ・サポーターが実働の中心となつて作業所を引っ張る体制が、出来あ

がりつつあります。

そこには必ずと言っていいほど「古いものと新しいもの」の確執・軋轢があり、議論が生まれます。(前向きの議論、と信じていますが)

20周年を機に、というわけでもありませんが、「あかね」では「三か年計画」というのを今年からスタートさせました。利用者の更にも細かいケア、スタッフの就労スキル向上、サポーターの皆さまとの連携の強化、そしてNPOとしての内部諸改善などを一体的に向上させていくと目的を掲げています。

もとより企業における三か年・五か年計画のような精緻な計画立案・進捗管理は期すべきも無く、障害者ケアの日常活動の合間を縫っての作業となりますが、スタッフや関係者がそのような問題意識を共有し、意見交換の場を経て認識を深めあうことで、三年後に「気がついてみたら、こんなに向上していた!」という事実が一つでも多く出来ていれば、と念じるのみです。長きにわたり「あかね」を支えていただ

いている皆さまに対する最も大きなご恩返しは、「障害者と共に」名実ともに自立した「NPOあかね」の頼もしい姿をご覧頂くことだ、と確信するからにほかなりません。

来る十月三十一日の二十周年感謝の集い(仮称)には是非ともご参集くださり、アニバーサリーイヤーを祝うひと時をシェアらせていただければ、私たち一同これに優る喜びはありません。



芳川 雅美

ご案内 共働作業所あかね創立二十周年感謝の集い

日時 : 2010(平成22)年10月31日(日) 11:00~14:00

場所 : 川西市商工会館 4階 大ホールにて

参加費:(気兼ねなくご参加頂けるよう)1,500円のみ、いただきます。

(あかね手作りのおいしい料理・飲み物・プロの民謡・ピアノ演奏など盛り沢山に!)

この20年を辿りつつ、支援頂いた皆さまへの感謝の意を新たに、あたらしい一歩を踏み出せる節目となるような会に致したく、是非ともご参加くださるようお願い致します。

あかね夏の騒動記

七月、いよいよ今年も夏祭り出店の時期を迎え、あかねの人たちはその準備に取り掛かろうとしていた時、作業所のクーラーがつぶれた。

だんだん暑くなってくるのに困ったなあ・・・これからクーラーなしでは困るから修理してもらおうと見積もりをもらった。(三年前も三十万円かけて修理したのだが)「一応なおりましたが、またこわれるかもしれない」と云われたの思い出した。

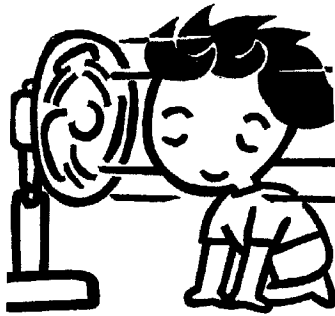
見積もりを見てビックリ!なんと九十三万円!「業務用のクーラーは高いなあ」「そんな修理は出来へんわあ」

そこで、素人の浅はかさ。「この頃、家庭用クーラーもよく効くから、家庭用の大きめを入れよう・・・と取り付けてもらった・・・ところが、今年の夏の異変!毎日35度を超す暑さの中、家庭用では、

どうにも効かない。

汗をダラダラかきながら、夏祭りの準備からあげ・ユロツケ約100kgを越すものを、毎日真つ赤な顔で汗だくで大奮闘。どうにか夏祭りを乗り切った。しかし、八月になっても収まらないこの暑さ。段々皆が元気がなくなってきた。

「熱中症に注意」のニュース。もう限界!ここで病人でも出したら大変だ!ということになり、再び業務用の見積もりをもらった。そして修理を依頼した。



1週間ほどして、「ああ、やつぱりこのクーラーでないなあかんなあ」みんなの元気が戻ってきた。

火打にある作業所は、元々、皮革工場の跡地に建っているため、工場が使われた薬

剤の影響が土中に残っているため、室外機が腐食するために起こるらしい。

作業所も20年経つと、これも仕方ないことなのかもしれない。一人も熱中症にならずに良かった。と安堵していたら・・・「子供用のビニールプールはないか?」と緑台にある「あかねはうす」のほうから電話が入った。

「プールをいったいどうすんの?」

「今度雨が降ったらもうバケツではあかんねん。あつちもこつちも雨漏りや!」

「ええっ?」

以前から、雨漏りがすると聞いていたが、そこまですとは思わなかった。この酷暑の中雨が降らないのが幸いであるが、ビニールプールとは・・・台風シーズンが思いやられる。

「あかねはうす」にはもう一つ困ったことがある。厨房の流しも床が腐って傾いてきていることも、以前から言われてはいたが・・・そこへ、はうすのクーラーもつぶれてしまった。
泣きつ面に蜂・・・

二十五年も素人の私たちがやってこれたことは、大変ありがたいと思っっている。しかし、家は悲鳴をあげてしまった。「何とかせなアカン！」またまた、修理のための見積もりを・・・。

「あかねはうす」の最初から知ってくださいている工務店さんに見積もりを依頼することにした。

「どれだけ、かかるんやろなあ？」・・・

* * *

障害者と共に古家から始まった「あかね」も二十五年も活動を続けられたことは地域の方々・全国各地から応援して下さい下さった方々の応援があったから続けてこられた。



そして今、障害者の親たちも高齢化し、子供たちの将来を若い世代の人たちに託すために、「拠点」としてあり続けるために、どうしても「あかねはうす」の家屋を修理しなければならぬ。

そうすることで、これからまた次の世代へ、時代へ二十年・三十年と続いてほしいと願いを込めて、改造に踏み切ります。

「一難去ってまた一難」「負けるわけにいかん」・・・

先日、知人が「ことば」を送ってくれました。

『朝に希望、昼に努力、夕べに感謝』
これからも、応援をよろしくお願いします

富田 啓子

**徳島へ
行ってきました**

記録的な猛暑が続いた八月最後の週末、徳島は剣山の麓、一宇町に行ってきました。

ここ数年「恒例」になっているこの旅行では、増改築センターの十家さんのご厚意で、地元のハッピースマイルという私たちと同じような作業所の方たちとの交流を兼ねて、十家さんの別荘に宿泊させて頂いています。

別荘の前には、剣山からの水を集めた清流・一宇川が流れており、上流に車を走らすにつれ、蟬の音が川の水音にかき消され、真夏の暑さからゆっくりと遠ざかってゆきます。

別荘に着くと、すでにハッピースマイルの皆さんも到着され、十家さんはじめ地元のボランティアさんたちが、竹を組み、そうめん流しの準備をして迎えてくださいました。

メンバーも職員も一年ぶりの再会を喜び、また、新しい出会いもあり、地元の冷たい「半田そうめん」をいただきながら、それぞれがご挨拶や近況報告をしました。

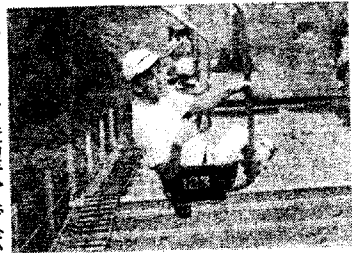
その後、一字川で「水浴び」をし、夕食はみんなでカレーライスと焼きそばを作りました。

大きな釜で炊いたご飯は格別で、先に作っていたでいた「猪汁」も絶品で、みんなおなかいっぱいに！

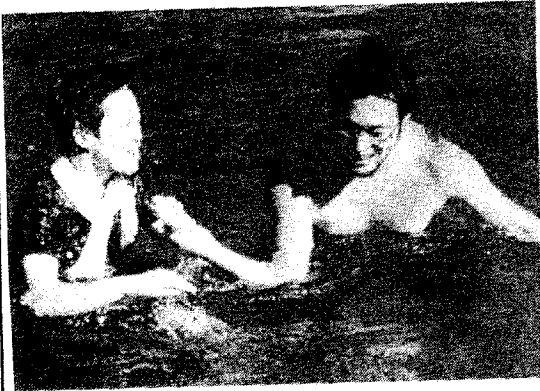
毎年恒例の、「ビンゴ大会」や「花火大会」「温泉」「カラオケ大会」と盛りだくさんな夜に、皆すっかり打ち解けて、いつまでもカラオケの音が響きました。

* * *

二日目は、朝食の後、標高1955メートル？の剣山山頂を目指して登山の予定でしたが、あいにく、リフトを降りたあたりから冷たい雨が強くなり、途中で引き返すことになりました。



けれども、展望台でボランティアさんが持たせてくださった「おにぎり」を頂いている時にほんのひと時、雲の切れ間から美しい四国山脈の山並み・稜線を見ることができました！



今回、私が一緒に行動することになったYさん。いつも作業所では、洗濯物やお掃除を誰も真似が出来ないほど、きれいに丁寧にやってくれています。忙しい仕事の最中には、「もう少し、急いで！」と云ってしまうこともしばしば。

けれども、川で一人のんびり歩いたり、ゆつくり泳ぎ、冷たい水を満喫し、温泉では「あく気持ちがいいわ」と、長い時間かけて味わって、山歩きでは一歩一歩自分の体と会話するように、休みながら登り、息を切らしながらも微笑んで、その時、その時を本当に味わって楽しんでいました。

自然の中で、彼女のペースが調和していて、普段私たちがどれほど忙しくしていて、一瞬を味わうことを忘れているかを、思い出させてもらった二日間でした。

あつという間に過ぎてしまいました、毎年地元の皆さんやハッピースマイルの皆さまに大変お世話になりながら、地元の方たちとの交流を楽しませて頂いております。本当にありがとうございます。

岡田 小月

夏祭り出店を終えて！

この夏の猛暑もやつと落ち着きを見せ、秋の気配を感じる今日この頃。

朝夕と肌寒く、夏の終わりの余韻に浸る間もなく秋模様。

夏休みムードもどこへやら、子供たちの登下校のにぎわいと、飛び交うトンボの群れ。

休みも終わり、いつもの「あかねの仕事」行商・弁当スタート。

「ああやつと普段のあかねの仕事のリズムに戻ったね！」と皆な口々に。

毎年多くのボランティアさんの協力のもと、地域の夏祭りに多数参加させて頂いているあかね。

七月下旬から八月下旬までと、今年は特に長い期間の出店となりました。

昨年は、雨の影響でお祭り中止が相次いだのですが、今年は雨も降らず、出店した

すべてのお祭りで売り上げも好調でした。

ただ、今年の暑さにはかなり参りました。テント立て・夜店のセッティング・夜の販売にと、昼夜関係なくあの暑さが襲っ



毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円

てきて、汗も止まらずに「こんなにもお茶を飲んだのはじめて」とペットボトル離せない状態。

そんな中で、ボランティアの皆さん、またメンバーの皆もよく頑張ったなあ〜と、ほんと感謝。

また今年は、若いボランティアのお手伝いさんも増え、熟練のボランティアさんに教えてもらいながら、元気な若さでお店も賑やかに。

「もうすぐ受験なんですけど今日は手伝いに来ました」とか、「ちょっとお店覗いただけなのに手伝いさせられてる」とか。学校から「トライやる」で来てくれた子たちが笑顔で集まってくれた。

また、「綿菓子作るの難しいっすねえ〜」「俺、不器用だから売り子に回るわあ」と一日ボランティアのお兄ちゃんたちもいたり。老若男女問わず多くの方に支えられているあかね。暑さ続く中、ほんと皆さんの笑顔とお手伝いで、無事にお祭りを終えることが出来ました。ありがとうございました。

渡邊 誠

お出合い情報～あかね行事へのお誘い～

- *10/01(金) 夏祭り出店慰労会 18:30～20:30 のせぐち「さと」にて
会費は2,000円のみ頂きます(飲み放題)
- *10/03(日) いも掘りツアー 恒例の天理市の山里にて、いも掘りそして
バーベキュー&温泉 会費3,500円
08:30JR川西池田集合(自家用車乗り合わせ)
- *10/31(日) 共働作業所あかね創立20周年感謝の集い(詳しくは3ページを)
11:00～14:00 川西市商工会館4Fホール 会費1,500円
- *11/21(日) 一庫マラソン大会にて出店と作業所メンバーの5キロ参加

あかね手作りケーキの集大成!

玉手箱セット ¥2,500

各種ケーキ・クッキー・手作りジャムの詰め合わせセットです。詳しくはあかねのホームページ(あかね作業所で検索)でご覧下さい。全国郵送可

～募集～

- ① 一人暮らしを始めたNさんの泊まりヘルパー
17:00～翌09:00
給与 5,500円
- ② 移動支援のガイドヘルパー。給与時間1,000円
詳しくはお問い合わせください

寄付金・カンパ・助成金

のご報告とお礼

(7月～9月)

板谷 様

宮崎 様

ハローあさひゴルフコンペ様

(大和)

ありがとうございました。

編集後記(お知らせ)

毎年秋十一月三日といえは、「あかねまつり」ところが、昨年はインフルエンザ等の影響で、結局年明けの「もちつき会」との併催となりました。で、今年なんです、「二十周年感謝の集い」が十月三十一日にあることもあり、年明けの餅つき会との併催とさせていただきます。来年以降については、実施・形態も含めて検討いたします。よろしく、ご了承ください。

内海

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円